様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

59-21
受付
-7.6.-9
豊田市

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和７年　６月　５日

豊　田　市　長　殿

提出者
住所　愛知県豊田市小田木町大水別8番地
氏名　株式会社安藤
代表取締役　安藤和央

電話番号 0565-82-2505

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和６年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社　安藤
事業場の所在地	愛知県豊田市小田木町大水別8番地
事業の種類	０６：総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和６年４月１日～令和７年３月３１日

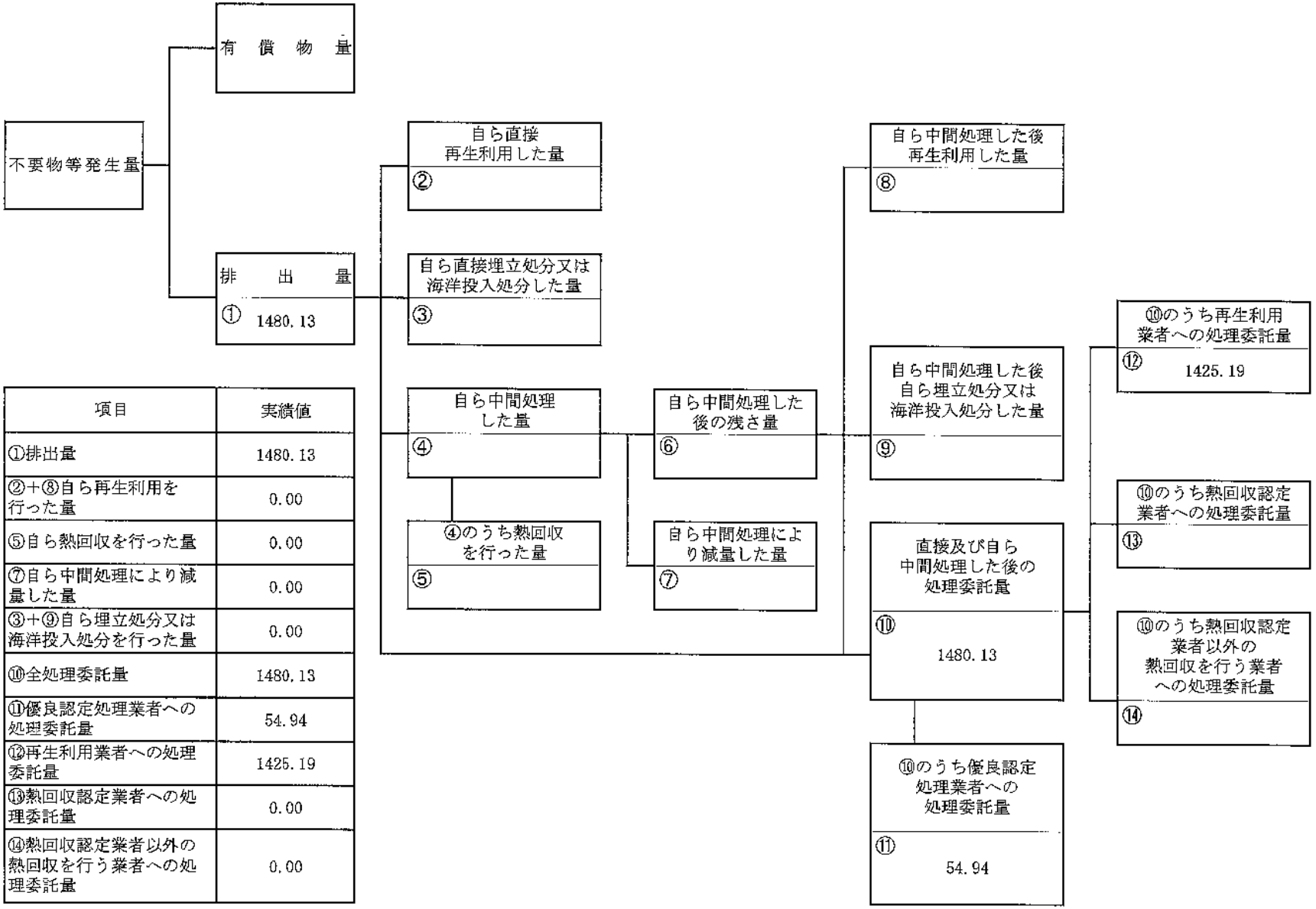
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1550.3 t	全処理委託量	1550.3 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1550.3 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄	

（日本工業規格　A列４番）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：がれき類　　）

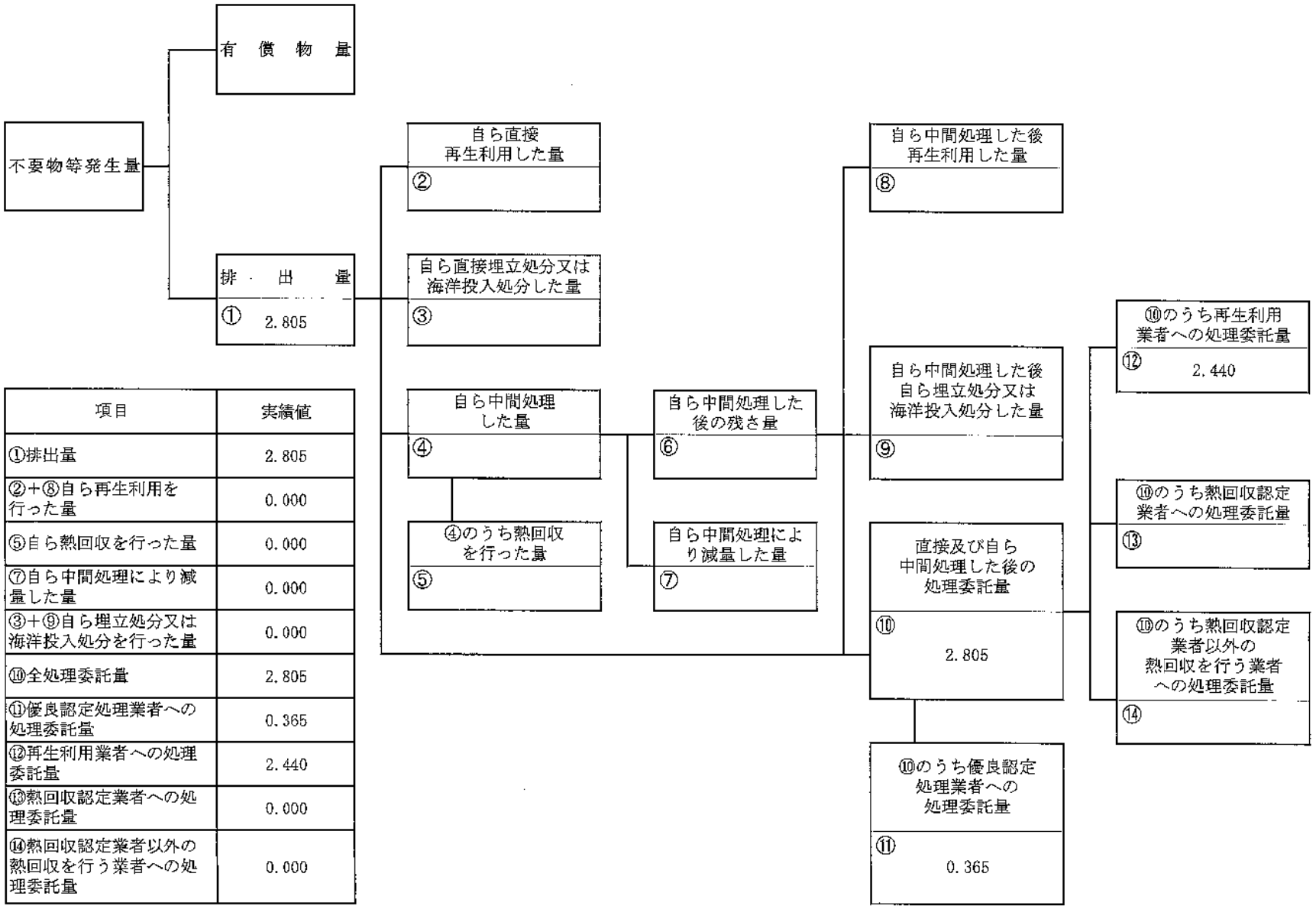


項目	実績値
①排出量	1480.13
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	1480.13
⑪優良認定処理業者への処理委託量	54.94
⑫再生利用業者への処理委託量	1425.19
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況

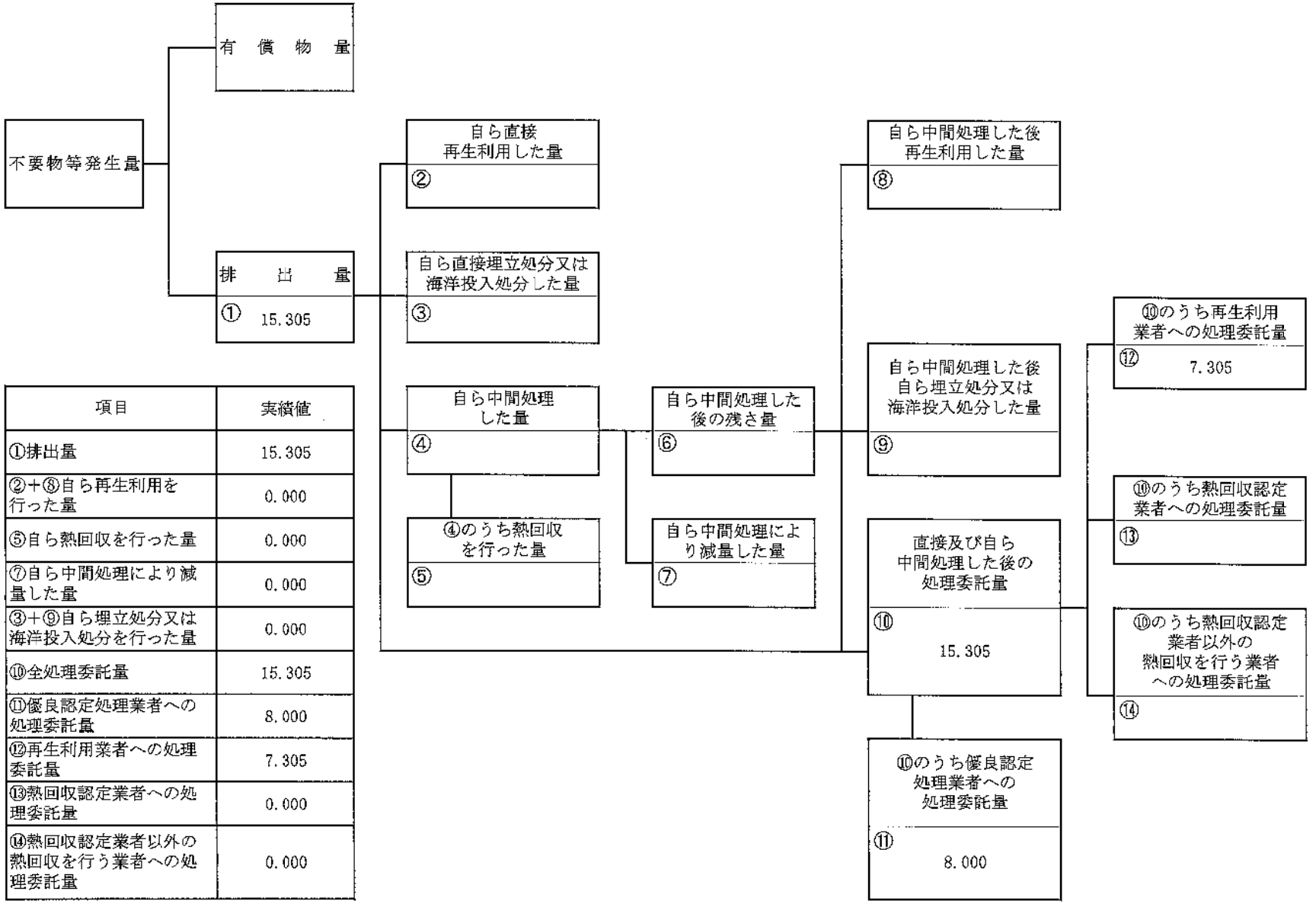
（産業廃棄物の種類：廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類　　）



項目	実績値
①排出量	2.805
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	2.805
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.365
⑫再生利用業者への処理委託量	2.440
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第２面）

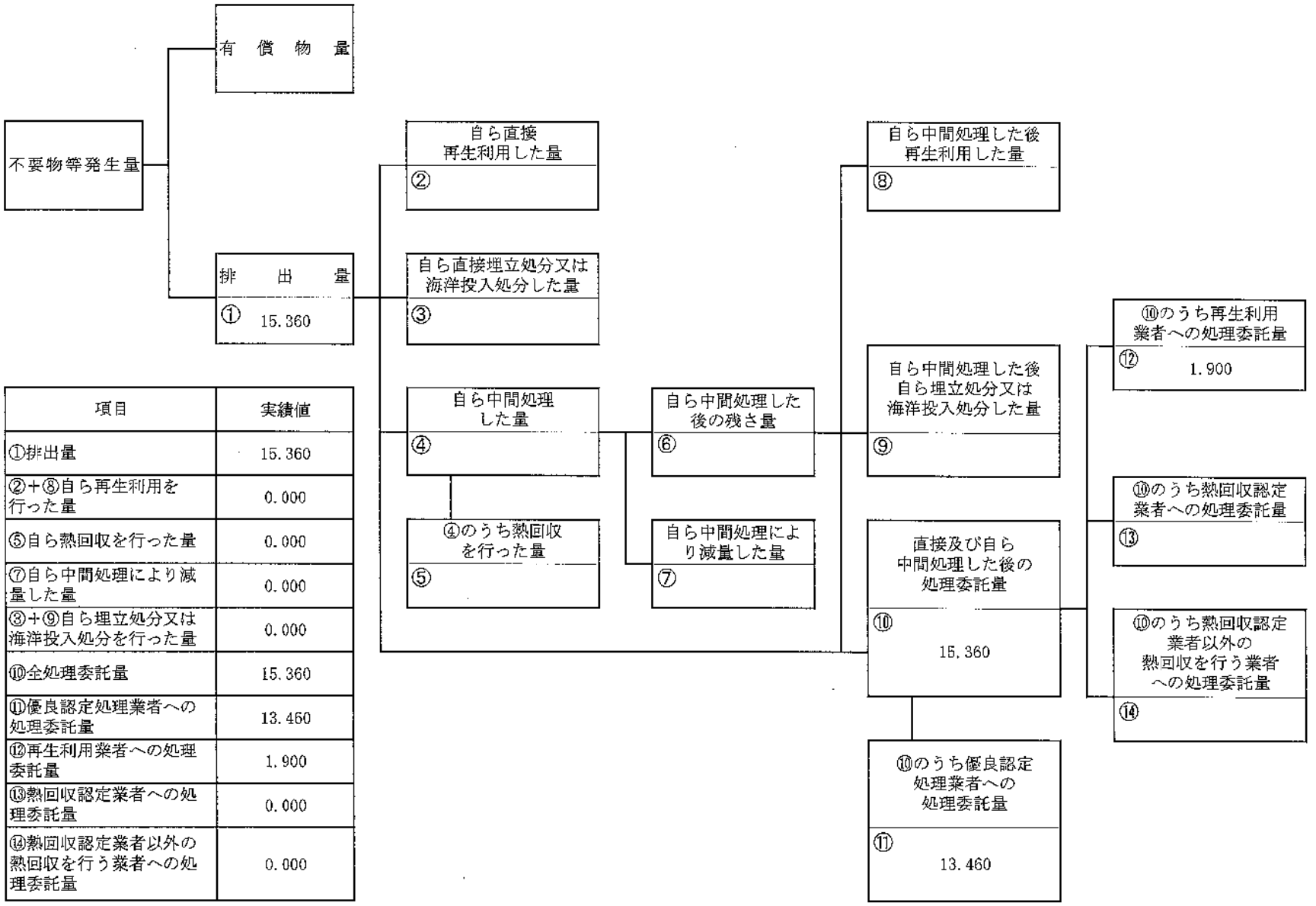
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：混合物　　）



項目	実績値
①排出量	15.305
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	15.305
⑪優良認定処理業者への処理委託量	8.000
⑫再生利用業者への処理委託量	7.305
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第２面）

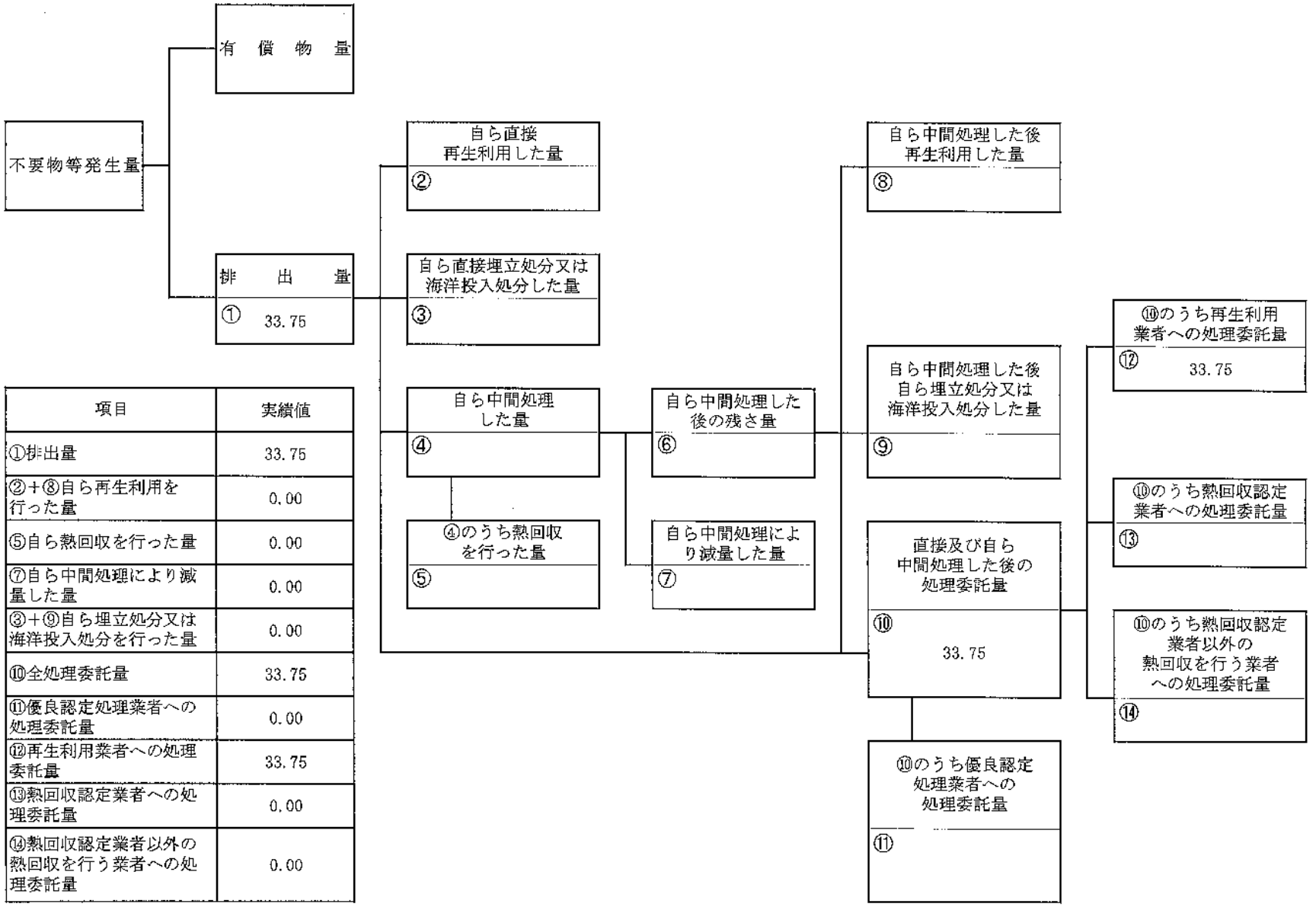
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：汚泥　　）



項目	実績値
①排出量	15.360
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	15.360
⑪優良認定処理業者への処理委託量	13.460
⑫再生利用業者への処理委託量	1.900
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

計画の実施状況

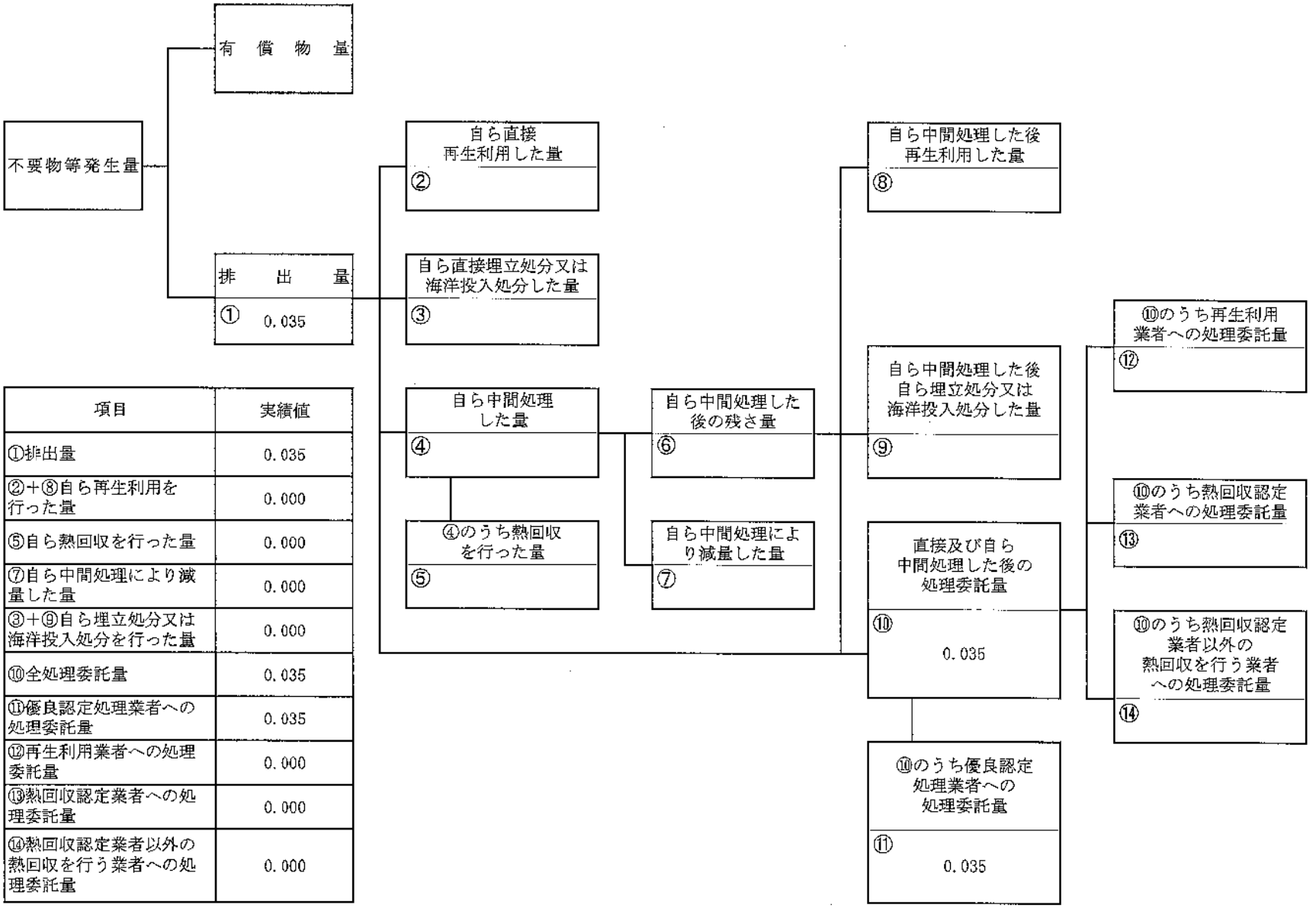
（産業廃棄物の種類：木くず　　）



項目	実績値
①排出量	33.75
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00
⑩全処理委託量	33.75
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00
⑫再生利用業者への処理委託量	33.75
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：金属くず　　）

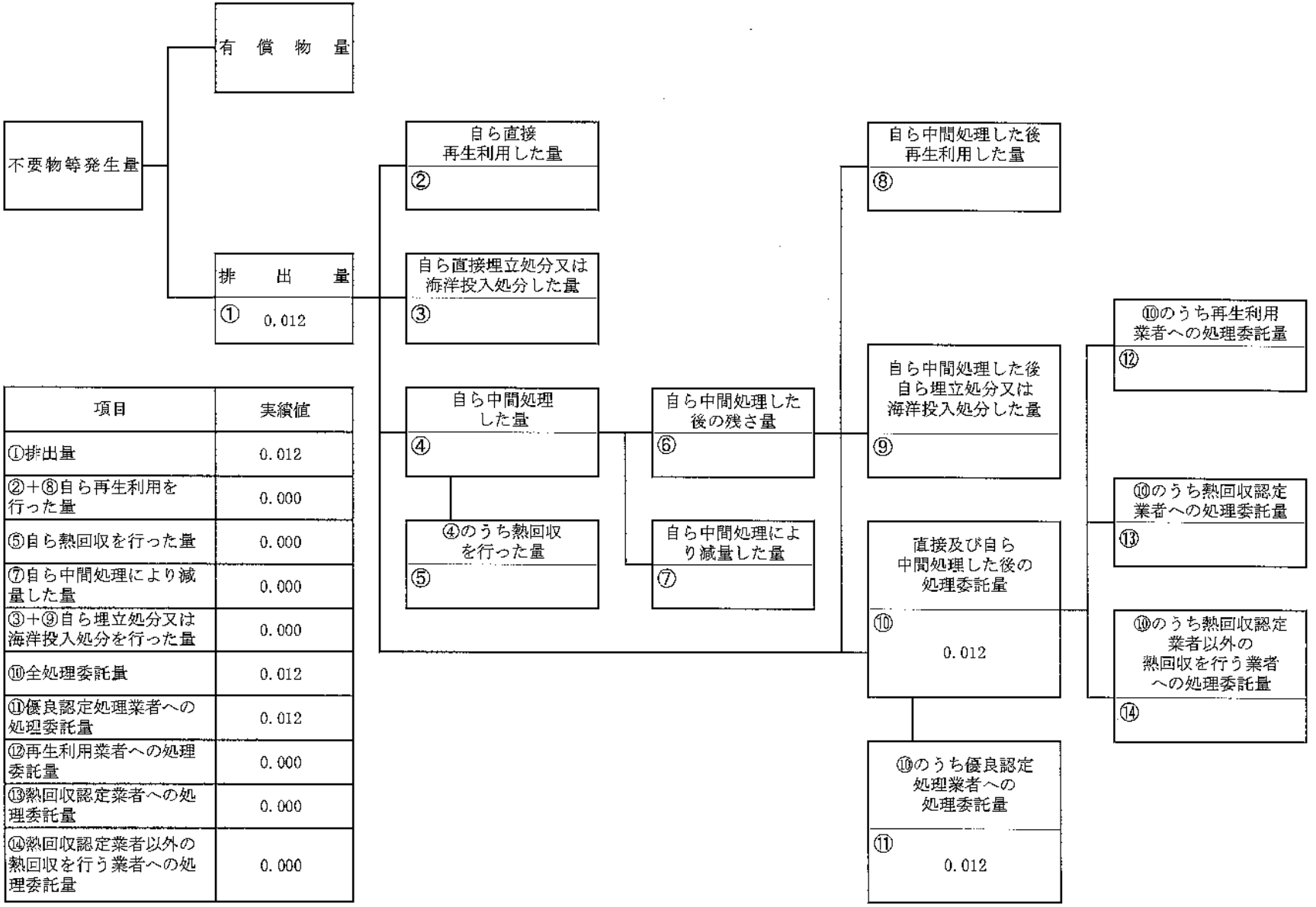


項目	実績値
①排出量	0.035
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.035
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.035
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第２面）

計画の実施状況

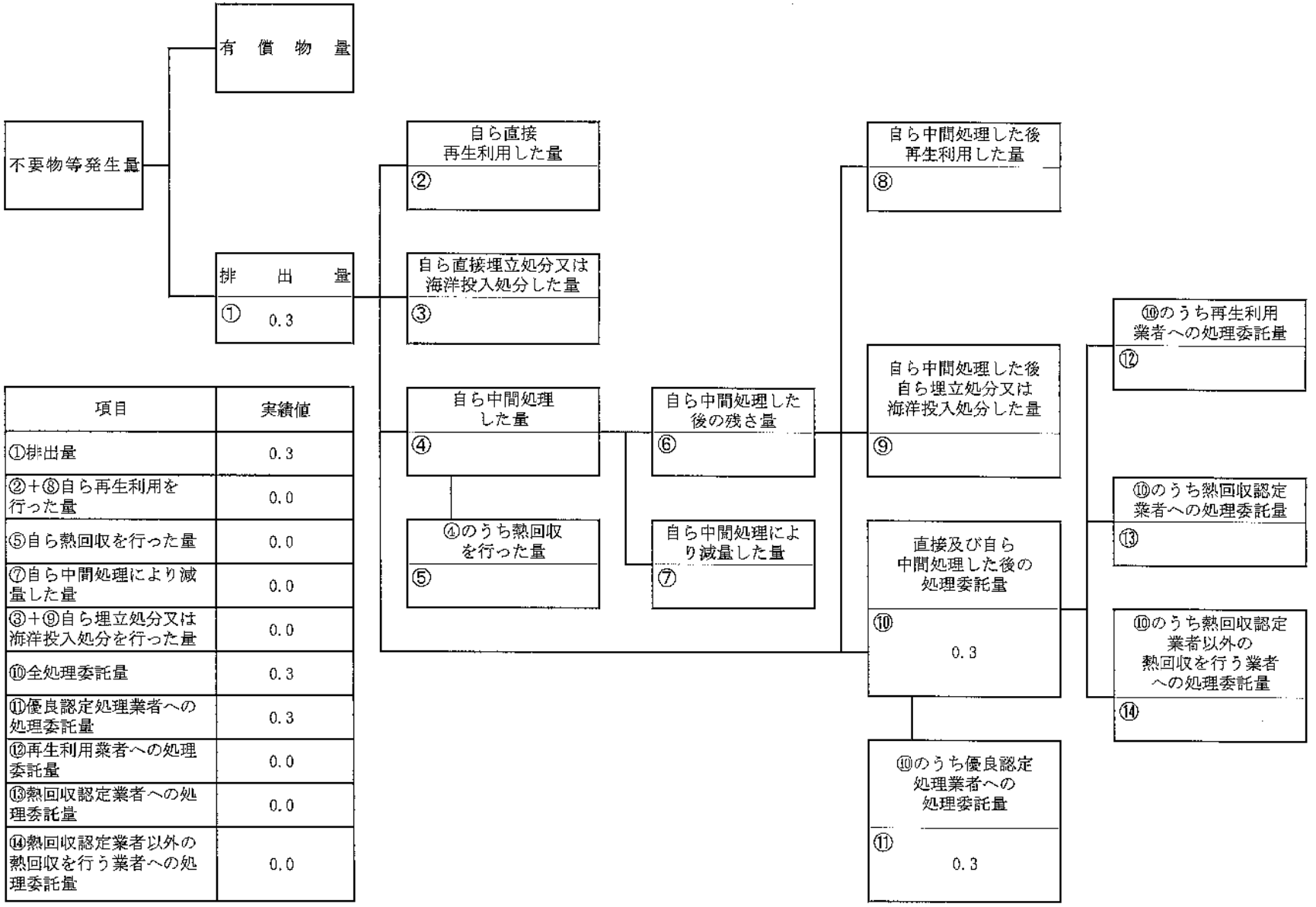
（産業廃棄物の種類：ｶﾞﾗｽ・陶器くず　　）



項目	実績値
①排出量	0.012
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	0.012
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.012
⑫再生利用業者への処理委託量	0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

（第２面）

計画の実施状況　（産業廃棄物の種類：燃えがら　　）



項目	実績値
①排出量	0.3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	0.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.3
⑫再生利用業者への処理委託量	0.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

（第２面）

備考

1　翌年度の６月30日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1) ①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2) ②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3) ③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4) ④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5) ⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6) ⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7) ⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8) ⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9) ⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10) ⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11) ⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12) ⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13) ⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14) ⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理状況調査票

1　事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社　安藤	従業員数（人）	42	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安藤あゆ子	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	57612	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-82-2505	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）		製造業の場合記入。 前年度の4月１日から3月31日までの１年間の額を記入して下さい。

2　実施状況

前年度計画の実施状況（6年度実績）	産業廃棄物の種類（名称） / 項目	がれき類 コンクリート・アスファルト	廃プラスチック類 土のう袋・塩ビ管	汚泥 カッター排水	木くず 枝・根・幹	混合（管埋型）
	a　不要物等発生量（t/年）	1480.13	2.805	15.36	33.75	15.305
	b　有償物量（t/年）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	①　排出量（t/年）（①＝a－b）	1480.13	2.805	15.36	33.75	15.305
	②　自ら直接再生利用した量(t/年)	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）
	③　自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	埋立処分先	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外
	④　自ら中間処理した量（t/年）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	処理方法	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）
	⑦　自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦＝④－⑥）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	⑥　自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	⑧　自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	再生利用用途	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）	A・B・C・D E（　）
	⑨　自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	埋立処分先	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外
	c　自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c＝⑥－⑧－⑨）	0.00	0.600	0.00	0.00	0.000
	d　直接処理委託量（t/年）（d＝①－②－③－④）	1480.13	2.805	15.36	33.75	15.305
	⑩　直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩＝c＋d）	1480.13	2.805	15.36	33.75	15.305
	e　埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0.00	0.000	0.00	0.00	0.000
	埋立処分先	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外
	f　委託中間処理量（t/年）	1480.13	2.805	15.36	33.75	15.305
	処理方法	A・B・(C)・D E（　）	(A)・B・(C)・D E（）	(B)・C・D (E)(混合・造粒固形化)	A・B・(C)・D E（　）	(A)・B・(C)・D E（　）
	g　委託中間処理により減量した量(t/年)	0.00	0.440	1.32	0.00	1.695
	h　委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	1480.13	2.300	14.04	33.75	5.525
	再生利用用途	A・B・C・(D) E（　）	(A)(B)・C・(D) E（　）	A・B・C・(D) E（　）	A・(B)・C・D (E)(土壌改良材)	(A)・(B)・C・(D) E（　）
	i　委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.00	0.065	0.00	0.00	8.085
	埋立処分先	A　県内・B　県外	(A)　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	(A)　県内・B　県外
	j　再生利用量（t/年）（j＝②＋⑧＋h）	1480.13	2.300	14.04	33.75	5.525
	k　中間処理による減量（t/年）（k＝⑦＋g）	0.00	0.440	1.32	0.00	1.695
	l　最終処分量（t/年）（l＝③＋⑨＋e＋i）	0.00	0.065	0.00	0.00	8.085

（注）1　産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
2　再生利用用途コード　A：原料・材料　B：燃料　C：銅料・肥料　D：建設材料　E：その他（具体的に記載）
3　処理方法コード　A：焼却・溶融　B：脱水・乾燥　C：破砕・圧縮　D：中和　E：その他（具体的に記載）
4　記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
5　①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第２面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

1　事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社　安藤	従業員数（人）	42	前年度の3月31日現在の従業者数（パート等の臨時職員及び役員等を含む）を記入して下さい。
記入者名	安藤あゆ子	当該事業所の元請完成工事高（万円/年）	57612	建設業の場合記入。 愛知県内（政令市を除く。）で行われた工事の年間の元請完成工事高（出来高工事を含む）を記入して下さい。
連絡先	0565-82-2505	当該事業所の製造品出荷額（万円/年）		製造業の場合記入。 前年度の4月１日から3月31日までの１年間の額を記入して下さい。

2　実施状況

前年度計画の実施状況（6年度実績）	産業廃棄物の種類（名称）	金属くず	ガラス・陶器くず	燃え殻		
	項目	缶	瓶			
	a　不要物等発生量（t/年）	0.035	0.012	0.30		
	b　有償物量（t/年）	0.000	0.000	0.00		
	①　排出量（t/年）（①＝a－b）	0.035	0.012	0.30		
	②　自ら直接再生利用した量(t/年)	0.000	0.000	0.00		
	再生利用用途	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）
	③　自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.000	0.000	0.00		
	埋立処分先	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外
	④　自ら中間処理した量（t/年）	0.000	0.000	0.00		
	処理方法	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）
	⑦　自ら中間処理により減量した量（t/年）（⑦＝④－⑥）	0.000	0.000	0.00		
	⑥　自ら中間処理した後の残さ量（t/年）	0.000	0.000	0.00		
	⑧　自ら中間処理した後再生利用した量（t/年）	0.000	0.000	0.00		
	再生利用用途	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）
	⑨　自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.000	0.000	0.00		
	埋立処分先	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外
	c　自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（c＝⑥－⑧－⑨）	0.000	0.000	0.00		
	d　直接処理委託量（t/年）（d＝①－②－③－④）	0.035	0.012	0.30		
	⑩　直接及び自ら中間処理した後の処理委託量（t/年）（⑩＝c＋d）	0.035	0.012	0.30		
	e　埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量（t/年）	0.000	0.000	0.00		
	埋立処分先	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外
	f　委託中間処理量（t/年）	0.035	0.012	0.30		
	処理方法	A・B・(C)・D E（　　）	A・B・(C)・D E（　　）	A・B・C・D (E)（混錬処理）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）
	g　委託中間処理により減量した量(t/年)	0.000	0.000	0.00		
	h　委託中間処理した後再生利用した量（t/年）	0.035	0.000	0.00		
	再生利用用途	(A)・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）	A・B・C・D E（　　）
	i　委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量（t/年）	0.000	0.012	0.30		
	埋立処分先	A　県内・B　県外	(A)　県内・B　県外	A　県内　(B)　県外	A　県内・B　県外	A　県内・B　県外
	j　再生利用量（t/年）（j＝②＋⑧＋h）	0.035	0.000	0.00		
	k　中間処理による減量（t/年）（k＝⑦＋g）	0.000	0.000	0.00		
	l　最終処分量（t/年）（l＝③＋⑨＋e＋i）	0.000	0.012	0.30		

（注）1　産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。
2　再生利用用途コード　A：原料・材料　B：燃料　C：飼料・肥料　D：建設材料　E：その他（具体的に記載）
3　処理方法コード　A：焼却・溶融　B：脱水・乾燥　C：破砕・圧縮　D：中和　E：その他（具体的に記載）
4　記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。
5　①～④、⑥～⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第２面と同じ項目です。